

恵 山

1 概況

30 日に実施した上空からの観測では、噴気の状態や火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

2 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0～8 回と少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 恵山 地震・微動の月回数（ドーム北）

2005～2006 年	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
地震回数	18	41	16	21	20	13	17	7	11	19	47	16
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

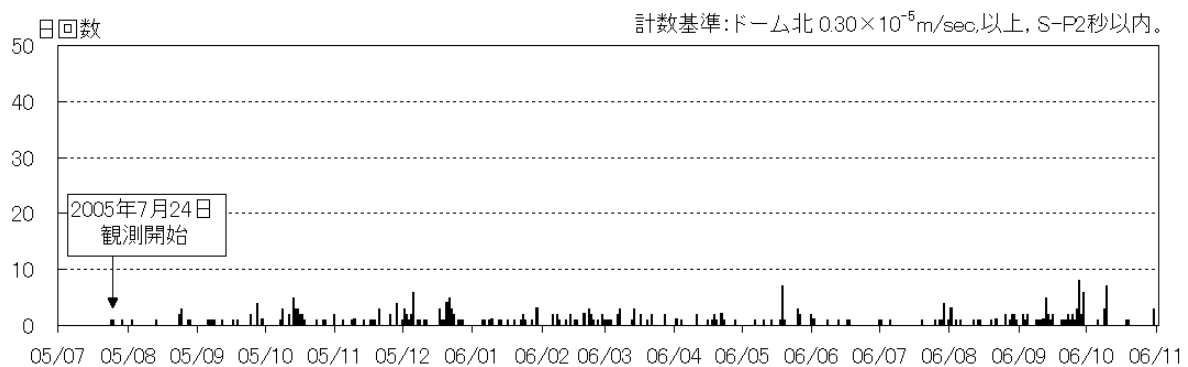


図 1 恵山 日別地震回数（2005 年 7 月 24 日～2006 年 10 月 31 日）

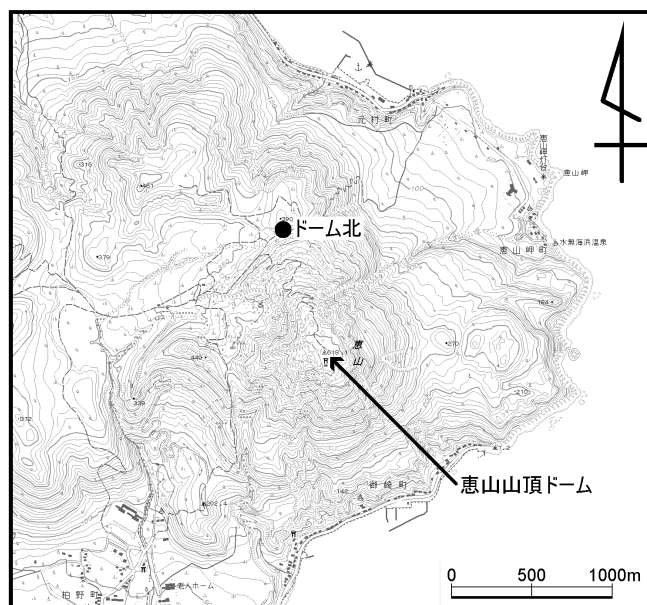


図 2 恵山 地震計配置図（図中●）

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています。（承認番号 平 17 総複、第 650 号）

3 上空からの観測結果

10 月 30 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、溶岩ドーム西側に位置する X 火口からは 10m 程度、Y 火口からは 50m 程度の白色噴気が認められました。赤外熱映像装置*による観測では、高温域の拡大や新たな地熱域などは認められませんでした。

* 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

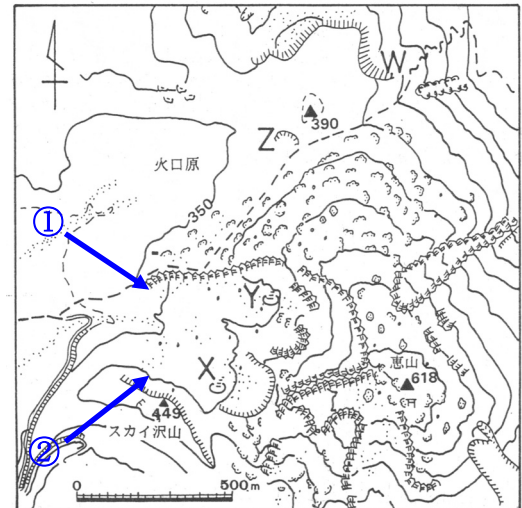


図 3 恵山 火口周辺図

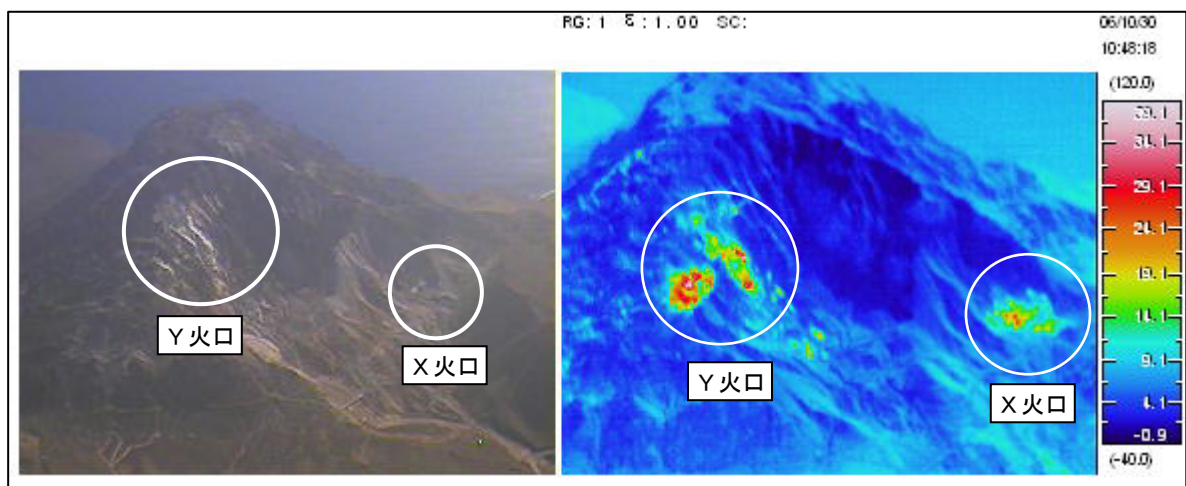


図 4 恵山 溶岩ドームの表面温度分布

（2006 年 10 月 30 日、北西側上空から撮影：図 3 地形図中①、北海道開発局の協力による）

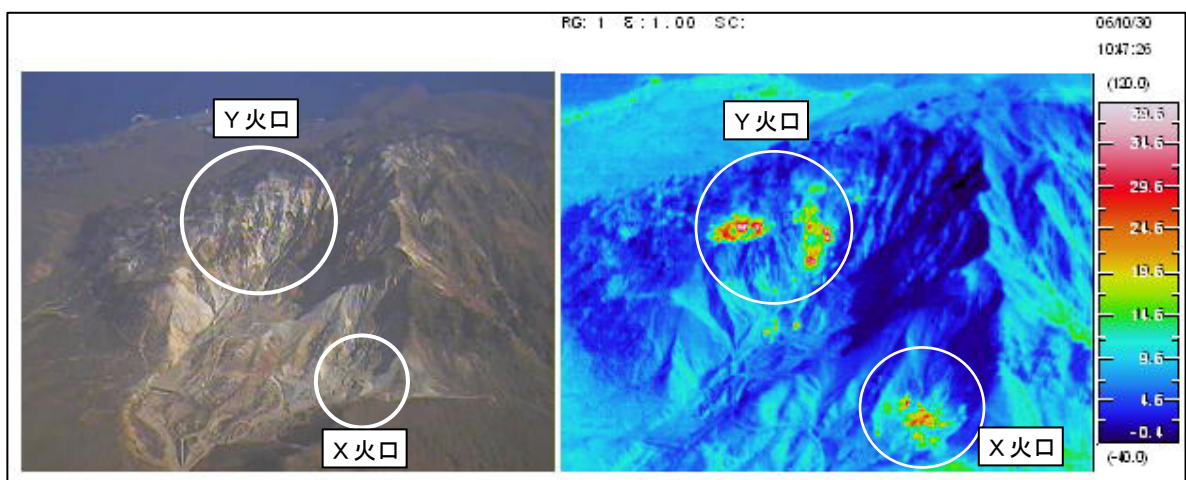


図 5 恵山 溶岩ドームの表面温度分布

（2006 年 10 月 30 日、南西側上空から撮影：図 3 地形図中②、北海道開発局の協力による）